

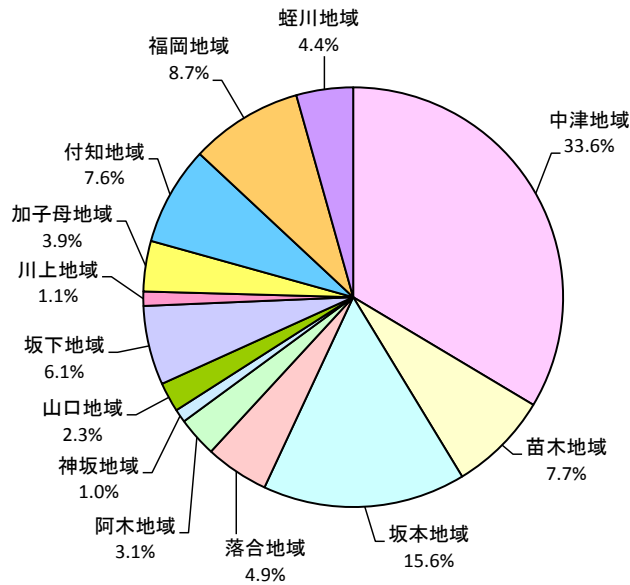
## 2.1.2. 中津川市の人口

### 2.1.2.1 現在の人口

平成 24 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳による中津川市の人口は 82,079 人（男性 39,851 人、女性 42,228 人）である。

### 2.1.2.2 地域別の人口

中津川市の地域別人口割合を図 2-5 に、地域別人口を表 2-2 に、それぞれ示す。中津地域に全人口の 33.6%が集中している。



出典：住民基本台帳(平成24年4月1日時点)

図 2-5 地域別人口割合

表 2-2 地域別人口

地域	人口		合計
	男	女	
中津	13,344 人	14,215 人	27,559 人
苗木	3,095 人	3,254 人	6,349 人
坂本	6,339 人	6,493 人	12,832 人
落合	1,980 人	2,043 人	4,023 人
阿木	1,197 人	1,329 人	2,526 人
神坂	389 人	451 人	840 人
山口	904 人	968 人	1,872 人
坂下	2,451 人	2,560 人	5,011 人
川上	443 人	462 人	905 人
加子母	1,532 人	1,660 人	3,192 人
付知	2,996 人	3,267 人	6,263 人
福岡	3,455 人	3,667 人	7,122 人
蛭川	1,726 人	1,859 人	3,585 人
総計	39,851 人	42,228 人	82,079 人

出典：住民基本台帳(平成24年4月1日時点)

### 2.1.2.3 年代別の人口

平成24年4月1日時点における各地域の年齢三区分別人口比を図2-6に示す。

中津川市全体では、年少人口の割合が全国や岐阜県の平均と同程度で、老年人口の割合が平均よりも高くなっている。

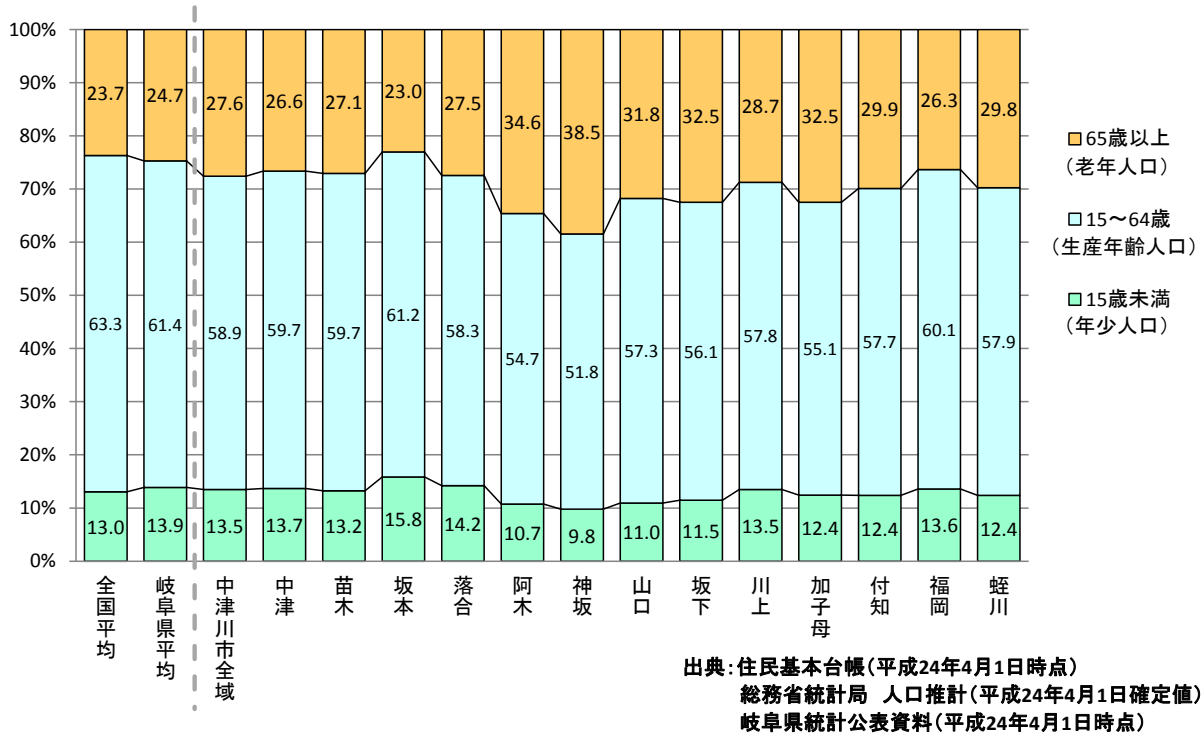
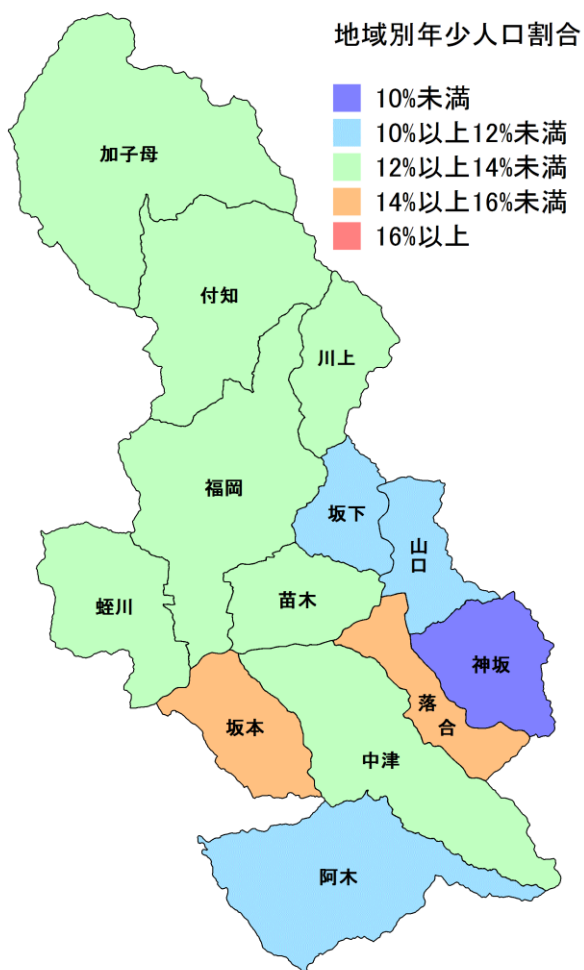


図 2-6 各地域の年齢三区分別人口比

地域別の年少人口と老年人口の割合を図2-7および図2-8の地図で示す。

神坂地域で最も少子高齢化が進行しており、年少人口の割合が10%を切り、老年人口の割合が38%を超えている。阿木地域と坂下地域でも少子高齢化が進み、加子母地域では老年人口の割合が高くなっている。

一方で、坂本地域は年少人口割合が市内で最も高く、老年人口割合が最も低くなっている。



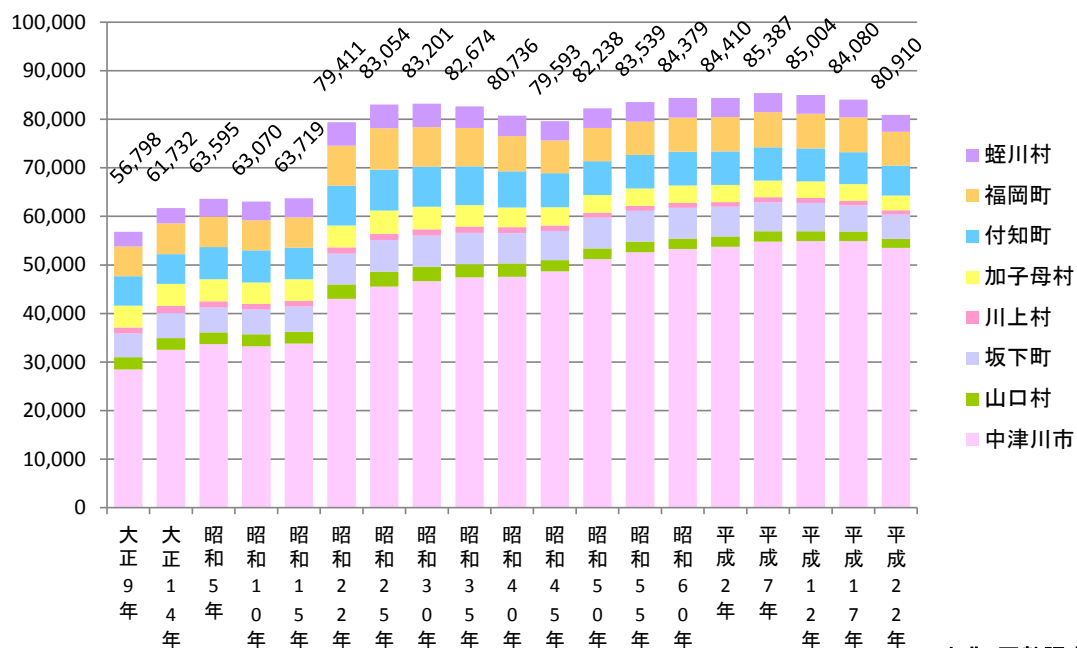
出典:住民基本台帳(平成24年4月1日時点)

図 2-7 地域別の年少人口の割合

図 2-8 地域別の老年人口の割合

### 2.1.2.4 人口の推移

中津川市の人口推移を図 2-9 に示す。平成 7 年の国勢調査で 85,000 人を超えたが、以後 3 回の調査ではいずれも前回より人口が減少している。



出典: 国勢調査

図 2-9 中津川市の人口推移

---

## 2.2. 中津川市の市有施設の現状

### 2.2.1. 中津川市の財産の種類と区分

中津川市が所有する財産は公有財産、物品、債権、基金の4つに分類され、市有施設の土地と建物は公有財産に属する。

公有財産はさらに行政財産と普通財産に分類される。

市役所庁舎や消防署などの中津川市が直接使用する公用財産と、学校、公民館や公園のように市民が共同で利用する公共用財産のことを行政財産といい、それ以外の経済的価値の発揮を目的としたものを普通財産という。

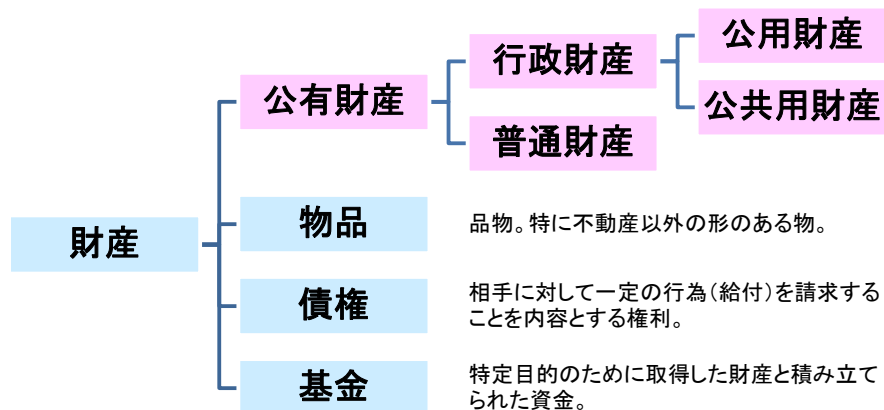


図 2-10 財産の種類と区分

### 2.2.2. 市有財産（施設）運用管理マスタープランの対象施設

市有財産（施設）運用管理マスタープランは、公有財産の「行政財産」と「普通財産」に位置づけられた行政財産のうち「建物」（いわゆる「ハコモノ」）に焦点を絞って見直しを進める。

対象となる市有施設は市域全体で 659 施設あり、その建物は 1,742 棟、床面積の総計は約 55 万㎡になる。ただし、今後の調査により数値は変動することがある。